

# SRTのトータルデザインについて

新たな路面公共交通システム



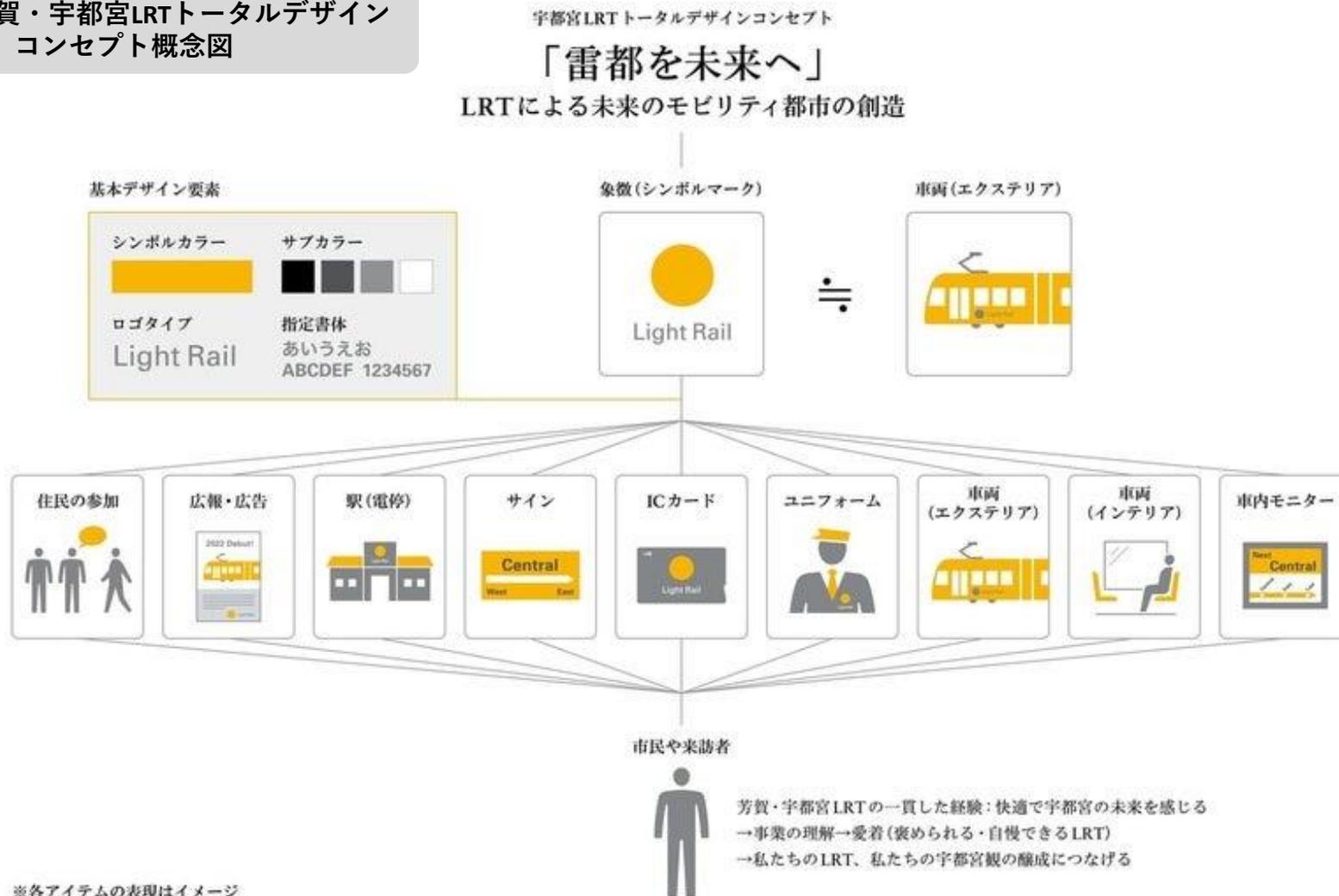
# トータルデザインとは



# ■「トータルデザイン」とは

製品から案内表示や乗り物、設備や施設全体までを総合的に管理し、製品や世界観など一環でデザインを担当すること

【参考】芳賀・宇都宮LRTトータルデザイン  
コンセプト概念図



※各アイテムの表現はイメージ

# ■名古屋駅周辺に関するトータルデザインについて①

都市のデザイン形成に関する有識者の意見を聴取し、質の高い象徴的な空間形成に向けたトータルなデザイン及び名古屋駅東西の駅前広場周辺エリア等のデザインについて検討をするため、平成27年度より「名古屋駅周辺エリアにおけるトータルデザイン検討会議」を開催(過去11回)

トータルデザイン指針(案)とは、名古屋駅周辺において関係者間で共有しながら目指していくデザインの方向性を示しているものであり、世界に誇れるスーパーターミナルを実現するために、今後の具体の設計の指針としていくものです。

## 原則1 名古屋らしい近未来のデザインを目指す

### 1 リニア時代を感じさせる空間となっているか

- 時代の最先端に挑戦している
- 新しいまちの一面が発見できる
- 気分が高揚し誰もがワクワクする

### 2 良質ストックを積み重ねているか

- 都市の記憶、精神を引き継いでいる
- 先人の生活文化を尊重している
- まちとしての一体感を形成している

### 3 地上を楽しく歩けるまちをデザインしているか

- 地上ににぎわいがある
- 地上から地下、デッキまで緩やかにつながれている
- まちを語りたくなる、絵を描きたくなる

## 原則2 活気ある駅周辺とまちのデザインを目指す

### 4 駅と駅前空間を中心にまちへ魅力・活気を広げているか

- 駅のにぎわいがまちまで連続している
- まちからまちへにぎわいが連続している
- 重層的な回遊が生まれる

### 5 楽しめる空間をデザインしているか

- 行き交う多様な動きが見える
- 眺める場所、眺められる場所がある
- 地上から地下、デッキまで光や風や人のにぎわいが感じられる

### 6 市民の活動・愛着を生み継続する仕組みをデザインしているか

- 緑がつながっている
- 地域の素材に触れられる
- 市民がいつも活動している

## 原則3 わかりやすくユニバーサルなデザインを目指す

### 7 安心できる空間となっているか

- 行き先が一目でわかる
- 視認性、防犯性が高い
- 災害に強く迅速に避難できる

### 8 コミュニケーションをデザインしているか

- 国内外の来街者による多様な対流が生まれる
- face to faceの交流が生まれる
- 必要な情報が必要な場所で得られる

### 9 人の流れと滞留をデザインしているか

- 人の流れと滞留を受け止める空間がある
- 人の流れと滞留のメリハリがある
- 人の流れが交わる場所の近くに滞留できる場所がある



## ■名古屋駅西側駅前広場のデザイン計画（リニア開業時の姿）

- 平面レベルの整備が、リニア中央新幹線の玄関口にふさわしい、デザインに配慮した駅前広場整備を目指すため、デザインコンセプトや施設計画等の基本的な考え方をデザイン計画として取りまとめた
- このデザイン計画に基づき、引き続き関係者との協議を行いながら、具体化を図る

## デザインコンセプト・目指す空間の考え方

## 関係性を紡ぐリニアフロンティア

～自然を感じ 近未来を想像し  
多彩な活動に触れるクラウド広場～

## 目指す空間の考え方

- 広場  
[多様な人々の拠り所となる広場]
- まちとのつながり  
[西側エリアへの前景となりまちへとつながる回遊起点]
- 乗換動線  
[機能性、選択可能性、偶発性のある乗換空間]
- ※設計にあたっての配慮事項  
リニア開業時の名古屋の玄関口にふさわしい空間として、環境負荷低減に資する取り組みや、先進的な技術等を取り入れた計画となるよう検討を進める

## 現在の名古屋駅西側駅前広場



## 完成イメージ（R3.9公表）



# SRTのトータルデザインは？





SRT構想に記載された「SRTのコンセプト」を  
分析し、デザイン視点を抽出



センテンスの抽出

SRTのコンセプト（SRT構想より）

- ①みちの再生による都心の魅力向上
  - ・公共交通が**利用しやすく**、歩いて**楽しい**道路空間に生まれ変わります。
  - ・**快適にくつろげる**待合空間が、**まちの情報スポット**に生まれ変わります。
  - ・SRTが**まちの風景に溶け込み**、歩道や沿道の建物と**一体的な賑わいを生み出します**。
- ②地区間の連携を強化する基幹公共交通
  - ・行きたい場所まで**迷うことなく**、待たずに行くことができます。
  - ・鉄道などと**便利に**乗り換えられ、多くの人を運ぶことができます。
- ③まちを訪れる人に新しい移動価値を提供
  - ・まちの賑わいや移ろいを**楽しみながら**移動することができます。
  - ・**ユニバーサルデザイン**が行き届き、**誰もがストレスなく**移動できます。
  - ・自動運転などの**新しい技術**で、**乗り心地が良く**、スムーズに乗降できます。

グループピング

<b>シンボル</b>	まちの風景に溶け込み	一体的な賑わいを生み出します
<b>楽しさ</b>	楽しい	まちの情報スポット 楽しみながら
<b>快適性 利便性</b>	利用しやすく ユニバーサルデザイン	快適にくつろげる 誰もがストレスなく 迷うことなく 新しい技術 便利 乗り心地が良く

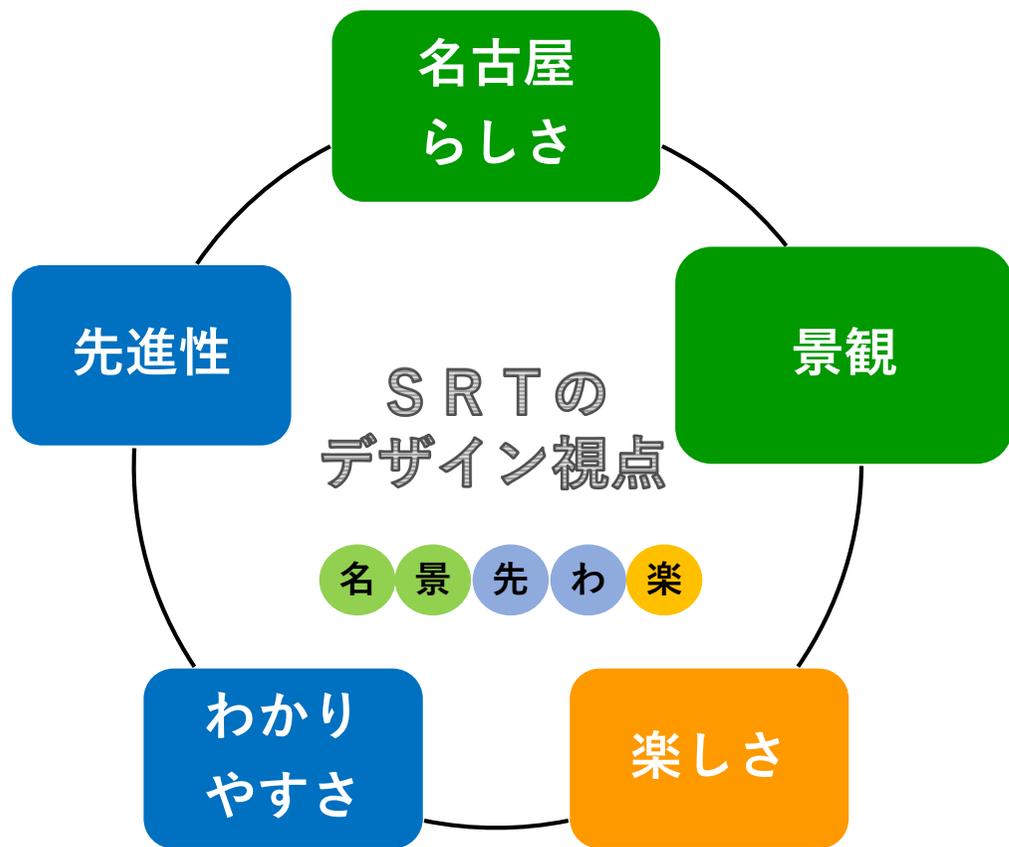
デザイン視点

名古屋の魅力が表現され、まちの景観と調和し、賑わいを生み出すデザイン

楽しみながら移動でき、まちを巡りたくなるデザイン

先進性が感じられ、わかりやすく利用したくなるデザイン





## まちとのつながり 社会の動き

- ・名古屋のなりたち
- ・都心部の状況
- ・先進的な取組、動き

デザイン視点の掘り下げ

(第1回)

SRTの  
デザインコンセプトへ  
(第2回)



## 本日の論点：

① S R T の デザイン視点 について掘り下げる

大事にすべき視点、エッセンス、キーワードなど

② S R T の魅力を高める機能について

車内機能・コンテンツについて

